

SPORTMAX

スポーツマックス 2026 年秋冬コレクション 「Dynamism」



スポーツマックスは2月27日（現地時間）、ミラノにて2026年秋冬コレクションを発表しました。本コレクションは、「Dynamism（ダイナミズム）」をテーマに、常に前進し続ける女性像を描きます。シェイプを自在に変化させるガーメントやコンバーチブル仕様のルック、そしてグラフィカルな表現を軸に構成。無駄な装飾は削ぎ落とされ、身にまとう人の動きに呼応したデザインこそが今シーズンのテーマです。

コレクションの基盤となるのは、ブランドのシグネチャーであるドゥーブレ素材。今季は特にネックラインにフォーカスし、フォルムに対する実験的アプローチを展開します。スエードとレザーの対比、取り外し可能なコントラストカラー、ロングからショートへの大胆な転換。マットとシャイン、シアーとオペークといった異素材・異質感の“ジュースタポジション（対置）”が、視覚的な緊張感を生み出します。

キーアイテムは、オーバーサイズのオリガミカラーが印象的なジレ。レイヤードやミックス&マッチを前提に設計され、高い汎用性を備えています。この“ヴァーサティリティ（汎用性）”の精神は、ラップやシンチディテール、そしてどんなシーンにも対応するデコンストラクテッド・テーラリングにも通底し、着る人の動きとともに完成するワードローブを形づくりします。

もう一つの重要な要素は“軽やかさ”。秋冬でありながら、大胆に肌を見せるアプローチが際立ちます。ボディラインに沿うニットやジャージーが生むテクスチャーとグラフィック効果は、シルエットを本質へと研ぎ澄ますための手法。装飾は最小限に抑えられ、きらめきのニュアンス、スラッシュディテール、コントラストトリム、鮮やかなカラーフラッシュのみがアクセントとして機能します。その抑制の美学は、存在感あるアクセサリを引き立てます。カラード・クロコダイルフエクトのプリントレザーのイヤリング、“Baldessari dots”*を想起させるクラッチバッグにメタリックフリンジ。テキサンブーツ(カウボーイブーツ)やウェッジヒールもまた、スポーツマックスの女性像を完成させる要素です。

マックスマラー ジャパン コミュニケーション

TEL: 03-5467-3707 / Info@maxmara.co.jp

SPORTMAX

ノスタルジアではなく、今を生きるためのファッション。品質を理解し、妥協せず、自らの行き先を持つ女性へ。2026年秋冬コレクションは、そのためのワードローブを提案します。

*John Baldessari (ジョン・バルデッサリ) が用いた、人物の顔にカラフルな丸いドットを重ねる表現手法

STYLIST: JACOB K

MAKE UP: HIROMI UEDA

HAIR: DAMIEN BOISSINOT

MUSIC: SENJAN JANSEN

CASTING: PIERGIORGIO DEL MORO & GIULIA MASSULLO

#SPORTMAXFW26 #SPORTMAX